

非公開の全員協議会で説明された重大な方針転換

緊急掲載

町民の暮らしに直結し 町財政を圧迫する2大テーマの行方

町立病院再編計画の前倒し

何がどう前倒しされるの？

- R10に予定していた介護医療院やすらぎ苑の大島病院への移転をR8年度内に前倒しする。
- 介護医療院の型が変わることにより、他の施設に転居しないといけない人がでる。
- 大島病院の病床が減ることにより、東和病院に転院しないといけない人が出る。

【要 因】

- 3月に見直した計画よりもさらに患者数が少ないこと、人件費や物価高騰が経営を予想以上に圧迫。

議員からの主な指摘

- 患者数が減った理由を外的要因にしているが、救急対応を断るなどしてきた結果、町民の信頼を失い利用者が減ったのでは。
- 将来的に目指す医療体制は？
毎回「見通しが甘かった」と説明されるが、小手先で場当たりの対応をしている段階ではない。
- 橘医院を町立で運営し続けることも考え直すときでは？

一般会計からの基準を超える繰入状況

R7:2億円(決算額)	
現行計画	変更後
R8:4.8億円	R8:4.8億円+2億円
R9:1.5億円町に返還	R9:1億円
	R10:0.5億円

公共下水道敷設エリアの見直し

どこが対象から外れるの？

延伸中の東和片添処理区の外入・船越、久賀大島処理区の久賀・東三蒲・西屋代・小松開作のうち、構想はあるが具体的な計画が策定されていない地域で、個別の合併浄化槽のほうが経済的と試算された地域。

【要 因】

- 人件費・物価高騰により事業費見込が1.34倍に。
- 新設に対する国の補助率が下がり、完成見込時期が予定より30年先に。
- 既に大きな借入金の返済残高がさらに拡大見込。

議員からの主な指摘

- ようやく見直されること自体は評価。
- もうすぐと思っていたのに来ないという地域も出てくるので、しっかり理解してもらう必要がある。
- 今なぜ見直しが必要なのか、しっかり説明することが重要。
- 合併浄化槽処理となる町民が、下水道敷設地域の住民と公平なサービスを受けられるよう配慮を。

一般会計からの基準を超える繰入状況

R7:4.8億円(決算)
R8:4.2億円(予算)
現行の経営戦略(～R17)では、今後も毎年4.7～5.5億円の繰入を予定。

【重要】執行部からのお知らせ(説明会など)を必ずチェックしてください！

この議会広報の配布と同時に、役場から「説明会のお知らせ」があります。
計画の詳細や、今後の日程・会場については、そちらの案内をご確認のうえ、ぜひ直接会場にご来場いただき、あなたの疑問や意見を伝えてください。

町民生活に直結する重大な変更です。
疑問や意見など、身近な議員にお伝えください。
議会としても今後の動向を厳しくチェックしていきます。



本会議場見学＆模擬議会体験

明新小学校6年生の皆さん

